

## 長期の企業体験実施

「岡山創生学」  
COC+推進協

18年度事業計画

岡山で活躍できる人材の育成を目指す県内の産学官連携組織「おかやまCOC+推進協議会」(代表・県立大)は1日、総社市窪木の同大で会合を開き、2018年度の事業計画を決めた。

地域活性化に貢献する人材を育成する同大の副専攻「岡山創生学」の3年目のカリキュラムとして、長期インターンシップを実施。学生が自治体や企業などで計4週間、業務を体験する。現段階で6自治体と企業30社の協力を得ているという。

同カリキュラムにより「岡山創生学」の全科目がそろい、所定の単位を取得した学生には「地域創生推進士」の称号を与える。

同協議会は、文部科



2018年度の事業計画を決めた「おかやまCOC+推進協議会」の会合

学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の採択を受け、15年11月に設立。県立大をはじめ岡山大、岡山理科大、県、真庭、備前市、県商工会連合会などで構成。今回新たに赤磐市が加わり、構成機関は30となった。19年度までの取り組みを通じて、参加大学の卒業生の地元定着率を10%向上させることを目標にしている。

(古川和宏)

山陽新聞社提供

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」岡山県立大学 HP

<http://www.cocplus.oka-pu.ac.jp/index.html>